

R6年度事業名	移住・交流情報発信事業
R5年度事業名	移住・交流情報発信事業

総合戦略体系	214	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	若者の夢を応援するまち	U・Iターン者への支援
--------	-----	--------------------------------	-------------	-------------

PLAN計画	部署名	総合政策課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略略の基本目標「ひとが集い、挑戦できるまちをつくる」を推進し、鯖江市への関係人口・定住人口の増加につなげるために、福井県が行う移住フェアやお盆相談会などを活用して県内外で積極的な情報発信を行うとともに、転入・転出者アンケートを実施・分析して効果的な移住支援策へ展開する。					
	概要	移住希望者への個別相談に応じるほか、都市圏等での鯖江市の移住情報の発信を行う。					
	法令等根拠		実施形態	内容	移住希望者への相談業務、都市圏での情報発信		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	移住フェア・相談会等への参加回数 ※2023～		回	目標値			5	5	5
				実績値			5	5	
	オンラインによる情報発信回数(移住フェア・相談会等)※ 2020～2022		回	目標値	3	5			
				実績値	5	6			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	移住相談件数		件	目標値	35	40	150	170	170
				実績値	55	144	229	202	
	計算 根拠		達成率	157.1	360	152.6	118.8		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	102	114	604	414	663		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	121	413	646		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	23,237	593
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	593

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	50

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	県主催の移住・就職フェアやその他の移住相談会等に参加する。各種情報媒体(広報、新聞、記事、移住マッチングサイト等)を活用して情報発信。関係人口を増やすため、本市に関心を持ってもらえるよう、積極的に鯖江の魅力を伝える。県外在住の大学生等で本市の仕事・暮らし・地域情報のLINE配信を希望する者に情報発信を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	・福井県が開催する相談会(8月・12月)や移住フェア(東京10月、大阪11月)に参加し、移住相談やPR活動を行った。 ・鯖江への移住を検討している方に対して、移住や観光に関する県外のイベントに出展する際、来場者に市の魅力や雰囲気伝える新たなツールとして、VRゴーグルを活用した映像コンテンツを制作した。 ・県外の大学生等を対象にメルマガ配信を毎月1回程度実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	・移住フェア等で不特定多数を対象とした相談受付を行った場合、鯖江市目当てに来てくれる人が少ない。 ・県外の学生等へ情報発信をする場合に有効な発信手段が少ない、かつ、新たな層を発掘することが難しい。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):		0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):		0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	めがねのまちさばえSDGs発信事業
R5年度 事業名	めがねのまちさばえSDGs発信事業

総合戦略 体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

PLAN計画

部署名	総合政策課		開始年度	2017	終了年度	2030
目的	「SDGs推進センターのあるめがねのまちさばえ」として、SDGsに取り組むものづくり産地をアピールし、まちに活気を取り戻し、機運を盛り上げることでにぎわいの創出や交流人口の増加に繋げる。 さらに「ジェンダー平等の実現」を核とした、さばえSDGs推進センターを中心とした「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みや若者、女性を中心とした市民や企業の活動を広く発信する。					
概要	「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。 また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。					
法令等根拠		実施形態	内容	国連の友APと連携しているこしの都ネットワーク株式会社に情報発信用コンテンツ制作および発信、放映を委託する。また、国連の友APを通じて国連等に情報発信を行う。		
現在	民間等委託(全部)					

活動指標

指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
若者向けSDGs啓発事業(2023～)		目標値			4	4	4
		実績値		2	4	4	

成果指標

指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
SDGsフェス参加企業数※2023～	回	目標値		23	38	25	25
		実績値			87	36	
計算 根拠	2022～ 映像の放送、放映回数	達成率			229	114	
		実数値					
制作した映像の活用回数※2022のみ		目標値		100			
		実績値		291			
計算 根拠		達成率		291			
		実数値					
女性活躍に関する番組制作※～2021		目標値	1				
		実績値	2				
計算 根拠		達成率	200				
		実数値					
		ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	2,860	2,420	4,950	11,044	13,220
決算額	2,365	2,420	4,950	11,044	13,200

タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	補助(国)事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	22	202			13,900
2							
3							
4							
5以降							
合計							13,900

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	5,170
2	企業版ふるさと納税	1,200
3		
4		
5以降		
合計		6,370

事業要員

正規職員	0.1
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

目標を達成できている	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
------------	---

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組に加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。
また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、まちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「めがねのまちさばえSDGsフェス」を開催する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

めがねのまちさばえSDGsフェスでは、さばえSDGsグローバルクラブの会員をはじめ、子どもやスポーツに関連した企画を実施したことで計87社の出店となり、来場者は約2万人であった。
さばえSDGs部の学生らが地元のハンドメイド作家と協力し、眼鏡や漆器などの端材を活用したサステナブルアクセサリーやアンブレラスカイの制作を行った。
活動の様子を盛り込んだ番組を制作し放送するとともに、センターでも毎日放映を行った。この番組の内容は、来年度のニューヨーク国連本部SDGs推進会

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

めがねのまちさばえSDGsフェスの来場者がSDGsを自分事として認識し、行動変容を起こすような企画実施。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業
R5年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業

総合戦略 体系	271	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域ブランド力の向上	シティプロモーションの推進
------------	-----	--------------------------------	------------	---------------

P L A N 計 画	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	本市のシティプロモーション活動を推進する民間企業や団体をめがねのまちさばえ応援企業・団体として認定し、「めがねのまちさばえ」の地域ブランド確立の推進を図る。				
	概要	下記の取組みを協働して実施する。 ・「めがねのまちさばえ」の知名度、認知度を向上させるための取組 ・観光振興に関する取組 ・ふるさと鯖江への愛着心の向上に向けた取組 ・地方創生、地域産業振興、若者の雇用促進、子育て支援に関する取組など				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	めがねのまちさばえを応援する企業や団体を応援企業・団体として認定する。	
	現在	市直営				

D

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
SNS配信回数(～2022)		回	目標値	30	100			
			実績値	141	144			
めがねのまちさばえ応援企業・団体累計登録数(2023～)		社	目標値			58	60	61
			実績値			59	60	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
めがねのまちさばえ応援隊新規登録数(～2022)		人	目標値	500	1,000			
			実績値	13,778	1,012			
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照		達成率	2,755.6	101.2			
			実数値					
協働で事業を行った応援企業・団体数(2023～)		社・団体	目標値			3	3	3
			実績値			3	4	
計算 根拠			達成率			100	133.3	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	100	800	0	0	0
決算額	0	0	0	0	0

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	42,602	0
2							
3							
4							
5以降							
						合計	0

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

SDGsフェス等の市のプロモーション事業を企業と協働で実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

応援企業との連携事業として下記の協働プロモーションを行った。
【個別事業】なし
【SDGsフェス】株式会社メディアビジョン・北陸電力・ヤマト工芸・福井県民生活協同組合

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

応援企業の登録数が伸び悩んでいる。協働プロモーションの内容を積極的に発信することで、新規加入を促進する。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	眼育(めいく)さばえ
R5年度事業名	眼育(めいく)さばえ

総合戦略体系	333	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	眼育の推進
--------	-----	--------------------------------	----------------	-------

PLAN計画	部署名	総合政策課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	子どものころからの目の健康づくり、目の健康に関する意識を高めてもらうために「眼育(めいく)」を発信し、幼少期の視力不良の早期発見や目の健康推進だけでなく、眼鏡、レンズの大切さも知っていただくことを目的に事業の推進を図りたい。					
	概要	新潟医療福祉大学石井教授と連携し、「眼育」をめがねのまちさばえから全国発信する。 ①「眼育」をPRするための絵本作成や研修会を実施する。 ②視覚検診の充実を図り、3歳児健診だけでなく、就学前健診時にも屈折検査を導入する。 ③子どもたちをはじめとする市民に対して目の健康づくり教室を開催するなど目の健康づくりに取り組む。					
	法令等根拠			実施形態	内容		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	目に関する事業実施回数		回	目標値	3	3	3	3	2
				実績値	6	5	4	5	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数		人	目標値	50	100	700	600	600
				実績値	177	703	789	614	
	計算根拠	R2年度:活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加 R4年度:屈折検査再開		達成率	354	703	112.7	102.3	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	615	674	705	805	1,506		事業タイプ	単独事業
	決算額	432	300	609	580	1,155		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	42,602	1,506
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,506

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1	ふくい地方創生推進事業補助金			670	
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	670

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	・保育所や将来保育士を目指す学生向けの研修会を実施する。 ・コロナ禍により令和2年度、3年度と実施できなかった就学前屈折検査を教育委員会や医師会の協力を得て実施する。 ・屈折検査を小学校でフォローアップできる仕組みを構築する。 ・新潟医療福祉大学の学生による目の健康増進啓発カードゲームのリニューアルおよび市内の保育・幼児教育施設への配付を行う。	
来年度へ向けて	R5年度実績 令和6年度市内小学校入学予定の児童約580名を対象とした就学時健康診断において屈折検査検査を実施した。新潟医療福祉大学と共同し、保護者や保育現場に携わる職員や市内保育所において目の健康づくりや眼鏡の重要性について啓発する事業を中心に行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 就学時検診での屈折検査実施後の、検査データが気になり児童のフォローアップをする体制づくりが必要。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 現在の眼育事業をそれぞれの所管部署で対応する	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)
R5年度事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)

総合戦略体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
--------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

PLAN計画	部署名	総合政策課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	SDGsに関する市の取り組みや民間の取り組みなどを紹介しながら、市民へのSDGsの普及・啓発を行う。 男女共同参画・女性活躍推進地域活動拠点施設である「夢みらい館・さばえ」と協働で、SDGs Goal15「ジェンダー平等の実現」を中心としたSDGs推進のための事業を行う。 「さばえSDGs推進センター」をプラットフォームとし、市民、団体、企業、学校等と連携し、SDGs推進のための事業を実施する。 ※指定管理へ移行のため、一部指定管理料へ					
	概要	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営を行う。 鯖江市SDGsシンボルマーク「グローカル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及を行う。 また、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。					
	法令等根拠			実施形態	内容		
現在		民間等委託（一部）			リーフレット・パネル・ピンバッジ制作、オレンジめがねキャンペーンイベント、女性活躍推進支援業務は委託。		

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	SDGs推進のための研修会の開催 ※出前講座（センター内・外での講座）		回	目標値	20	20	20	1	1
				実績値	41	46	28		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	SDGsの活動事業団体数		団体数	目標値	40	100	161	180	180
				実績値	65	111	161		
	計算根拠	R2～本市と連携してSDGs推進を図っている企業、団体（さばえSDGsグローバルクラブ等）数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数	達成率	162.5	111	100			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,794	4,964	4,172	3,292	1,128		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,943	2,077	3,557	2,284			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	22	203	SDGs推進事業費	39,497	1,128
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,128

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)			1,586
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,586

事業要員	正規職員	0.7
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営、鯖江市SDGsシンボルマーク「グローバル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及および、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 グローバルピンバッジや啓発リーフレットを作成し、市民への普及啓発を行った。 さばえSDGs推進センターを拠点に、産官学民が連携したものづくりなどの展示、SDGs講座の開催、地域おこし協力隊による国内外へ情報発信を行う。 3月の「国際女性デー」と連動したオレンジめがねキャンペーンの普及や、国連の友Asia-Pacificと「夢みらい館・さばえ」および市内企業等と連携した取組を行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 「さばえSDGsグローバルクラブ」の登録企業・団体などと連携した、SDGs同士のパートナーシップ事業につなげる。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	
	R7方向性⇒ 維持	
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	移住就職支援事業
R5年度事業名	移住就職支援事業

総合戦略体系	214	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	若者の夢を応援するまち	U・Iターン者への支援
--------	-----	--------------------------------	-------------	-------------

PLAN計画	部署名	総合政策課		開始年度	2019	終了年度	2026
	目的	東京圏への過度な一極集中の是正および県外からの若者および子育て世帯の移住定住を促進するとともに、中小企業等における人手不足の解消に資するため、移住者に対し支援金を支給することで、一時的な費用負担を軽減して鯖江市への移住を促進する。					
	概要	【東京圏型】東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載・求人された県内中小企業に就業等し、鯖江市に移住してきた者に対して支援金を支給する。 【R4拡大:全国型】県外の3年以上在住者で、県内企業に就業等し、鯖江市に移住してきた40歳未満または子育て世帯に対して支援金を支給する。※新卒、非正規雇用、公務員、東京圏型の対象者等を除く。 【R6拡大:交通費補助】東京圏の大学4年生が将来的に本市に移住するため、福井県で就職活動を行うための交通費を補助する。					
	法令等根拠		実施形態	内容	市が交付申請者に対して移住支援金を交付する。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
補助件数		件	目標値	2	10	50	30	35
			実績値	2	12	26	35	
計算根拠	国県補助2025年度以降不明	達成率	100	120	52	116.7		
		実数値						
		ランク	A	A	C			
前年度ランクB、Cの理由	上半期補助件数約20件だったため、50件の目標としたが、下半期の申請件数が伸び悩んだため							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,200	3,200	6,900	27,200	19,400		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,000	1,200	3,950	14,300	12,950		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	23,237	19,400
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	19,400

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	移住就職支援事業費補助金(国1/2 県1/4)		11,400	
	2	(全国型)移住就職支援事業費補助金(県1/2)		2,100	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	13,500

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	8

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組内容	【新規:交通費補助】東京圏の大学4年生が将来的に本市に移住するため、福井県で就職活動を行うための交通費を補助する。 【継続:東京圏型】単身60万円、世帯100万円 ※子ども1人につき100万円を加算する。 【継続:全国型】単身10万円、世帯15万円 ※市内就業、新婚世帯、子ども1人につき各5万円を加算する。 東京圏型の登録企業数を向上させるため、商工観光課が保有する市内中小企業向けメルマガにより周知を行う。	
来年度へ向けて	R5年度実績 令和5年度の交付対象者 ・東京圏型6世帯 ・全国型20世帯 東京圏型の新規登録企業 計24社(うちR5年度新規は1社) R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 ・全国型を新たに実施したことで、令和5年度の交付対象者は26世帯となったが、全国型と東京圏型で交付申請に差がある事が現状。現状の首都圏への人流一極集中を食い止めることおよび人口の社会増をすることが課題である。 ・移住者のニーズに則した支援制度を確立する必要がある。 ・全国に本市の制度導入の周知に加え、本市に転入したいと思わせる魅力づくり・発信が課題。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 ・関係部署と連携して、ホームページやSNSのほか、考える媒体を活用して制度に関するPRを強化し、制度の認知度を高め、鯖江市への移住につなげたい。	
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	さばえのものづくりファン創出事業
R5年度 事業名	さばえのものづくりファン創出事業

総合戦略 体系	214	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	若者の夢を応援するまち	U・Iターン者への支援
------------	-----	--------------------------------	-------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	県外の若者に鯖江のものづくりに興味を持たせ、鯖江の人々との関係性を築くことにより、さばえのものづくりファン（関係人口）を創出するとともに、移住や定住の推進を図る。				
	概要	【開催内容】「鯖江の工房ツアー」、「座談会」、「個別相談会」など 【募集対象・人数】県外の大学生とし、募集人数は15名まで 【委託事業者】（一社）SOE 【アフターフォロー】参加者の雇用・移住に関する相談等については、市が連携して対応していく。 ※丹南地域全体で取り組む事業とするため、令和5年度より鯖江市・越前市両市で負担しながら事業実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	RENEW実行委員会による事業委託	
	現在	民間等委託（全部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	参加者数		人	目標値		10	10	10	10
				実績値		12	13	11	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	アンケート調査における鯖江のものづくりに関心を持った人の割合		%	目標値		50	80	85	85
				実績値		100	100	100	
	計算 根拠	関心を持った人数÷アンケート回答者総数 ※大変満足・満足・やや不満・大いに不満のうち、大変満足と満足を抽出。		達成率		200	125	117.6	
				実数値		12/12	13/13	11/11	
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,000	500	500		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			1,000	500	500		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	23,237	500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	500

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	集落活性化支援事業補助金		250	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	250

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない	
13	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	越前市と共同で県外の大学生を対象に、鯖江で生活しながら仕事を体験できるプログラムを開催するとともに、プログラム開催後に、参加者に対してアンケート調査を実施し、その内容に対して分析を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	・日程:2023年7月30日(日)～2日(火) ・宿泊:SABAE MEGANE HOUSE(〒916-1225 福井県鯖江市別司町31-17) ・対象:ものづくりに興味・関心のある若者(大学生および社会人の方) ・企画・運営:一般社団法人SOE ・参加者:合計13名
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	本市のものづくりに触れた若者が実際に就業・移住につながるよう、参加者の満足度が高いプログラムを提供する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	職人や先輩移住者、あかまる隊との交流時間を増やし、つながりを強化することで、参加者満足度を向上させる。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	ゲームで体感SDGs講座開催事業
R5年度事業名	ゲームで体感SDGs講座開催事業

総合戦略体系	264	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	SDGsの推進
--------	-----	--------------------------------	-------------	---------

PLAN計画	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	本市にカードゲームのファシリテーターがいる強みを活かし、市職員が自らSDGsカードゲームを体験し、SDGsの理解度、認知度の向上を目指すとともに、地方創生や自治体運営のヒントを得ることを目的とする。 ※指定管理者制度導入のため、市民向け講座は指定管理へ移行するとともに、市職員向け講座を新たに開催。				
	概要	カードゲームのファシリテーターがいる、(特)エコプラザさばえ、夢みらいWeと連携して行う。 これまでSDGs推進センターで開催してきたカードゲームは、市民等に広く参加を促したものであったが、まちづくりの中心である市職員の研修として取り入れることで、あらためてSDGsの重要性を認識し、自治体運営や施策に直接反映できるような考え方を身に付けるもの。				
	法令等根拠		実施形態	内容		
	現在	民間等委託(一部)				

DQ実施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	さばえSDGs連携企業、団体の数※～2022年度		団体	目標値		90			
				実績値		111			
	計算根拠	グローバルクラブ111、参加：個人51人、企業・団体は0 グローバルクラブ対象の定期的な研修は～2022年度まで実施		達成率		123.3			
				実数値					
	ゲームを通したSDGs啓発イベント参加人数※2023年度～		人	目標値			50	100	0
				実績値			183		
	計算根拠			達成率			366		
				実数値					
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			410	300	210		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			204	26			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	22	202			210
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	210

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)			150
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	150

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	本市にカードゲームのファシリテーターがいる強みを活かし、市職員が自らSDGsカードゲームを体験し、SDGsの理解度、認知度の向上を目指すとともに、地方創生や自治体運営のヒントを得ることを目的とする。 指定管理導入に伴い、センターでの開催とは別に庁内でも実施。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 体験した種類のゲームは、再び参加しようとは思わない傾向がある。単発で新しいカードゲームを、ごみひろいなどと組み合わせた「海ごみ講座」とし、学校やSDGs部などの若者を中心に開催する。企業とのコラボ企画による環境講座やエンゲージメントカードゲームなどは比較的好評であった。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 市職員のSDGsの理解度、認知度の向上を目指す	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 市職員のSDGsの理解度、認知度がある程度達成されたため、終了とする	
	R7方向性⇒	終了
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由 市職員のSDGsの理解度、認知度がある程度達成されたため、終了とする	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	さばえSDGs部設置事業
R5年度 事業名	さばえSDGs部設置事業

総合戦略 体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	若者の「SDGsの自分事化」を促進しつつ、SDGsに関心ある学生たちに活動の場を提供し、関連団体との連携を推進する。活動により、鯖江市および福井県のSDGsについて知ってもらうことで将来的に福井県に残る(または戻ってくる)人を増やす。SNS等を活用し、国内外に発信し、鯖江市に興味を持ってもらう。当センターを県内のSDGs推進拠点になるよう、市内外問わず、SDGs推進活動に興味のある若者を集める。※指定管理へ移行のため、一部指定管理料へ				
	概要	「さばえSDGs部」は、SDGsに関心ある高校生・大学生等のための「ゆるい部活」。さばえSDGs推進センターを拠点に、月に1～2回ほど放課後に集まり、SDGsの各目標への理解を深めながら、「マイSDGs」を見つけて、参加者でやりたいことを見つけて自ら行動する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在	市直営				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
さばえSDGs部 活動日数		日	目標値		20	24	25	20
			実績値		10	30	22	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
さばえSDGs部 部員数		人	目標値		15	38	20	20
			実績値		16	38	22	
計算 根拠			達成率		106.7	100	110	
			実数値					
			ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			15	657	500		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			13	41	0		経費区分	その他

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	22	201			500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	500

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)			328
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	328

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
13	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	SDGs推進センターを指定管理とするが、引き続きセンターを県内のSDGs推進拠点になるようSDGs推進活動に興味のある若者を集め、若者の「SDGsの自分事化」を促進しつつ、学生たちに活動の場を提供し、関連団体との連携を推進する。SNS等を活用し、国内外に発信し、鯖江市に興味を持ってもらう。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	前年度からの継続7名を含む38名の部員。SDGsフェスに参加。昨年やり残した案件や、あらためて学習したいことなどを整理して、継続的に活動した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和6年度もSDGsフェスに参加する。「SDGsの自分事化」を促進しつつ、学生たちに活動の場を提供し、関連団体との連携を推進する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	さばえSDGs部の活動を維持したいと考える。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	地域ブランド推進事業費
R5年度 事業名	地域ブランド推進事業費

総合戦略 体系	271	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域ブランド力の向上	シティプロモーションの推進
------------	-----	--------------------------------	------------	---------------

PLAN計画

部署名	総合政策課		開始年度	2023	終了年度	9999
目的	「知られているまち」から「選ばれるまち」となることを目指し、令和4年度に市民有志チームから提案いただいた市のブランド戦略「つくる、さばえ」の実現に向け、このブランド戦略に掲げられている「つくる、さばえ」の原点である「ものづくり・まちづくり・ひとづくり・ことづくり・支え手づくり」それぞれの実現に向け歩み出す必要があり、積極的な事業展開を図る。					
概要	下記の取組を実施する。 1 ブランド戦略「つくる、さばえ」啓発事業 2 鯖江市役所シゴトプロジェクト事業 3 地域イノベーション拠点づくり					
法令等根拠		実施形態	内容			
現在	民間等委託（一部）					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難		回	目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ブランド戦略の啓発		回	目標値			2	4	4
				実績値			4	6	
	計算 根拠	広報紙、シンポジウム、ポスター等 2023は広報紙、シンポジウム、冊子、WEBサイト 2024は広報紙、WEBサイト		達成率			200	150	
				実数値					
				ランク			A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				6,862	4,109		事業タイ	交付金事業
	決算額				6,862	3,254		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	209	地域ブランド推進事業費	17,111	13,920
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	13,920

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)		8,620	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	8,620

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
14	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地域ブランド力向上を図るにあたり、本年度はインナーブランディングの取組について重点的に実施する。インナーブランド力を向上させるためには、ブランド戦略「つくる、さばえ」について、もともと興味のある人に対するアプローチと、特に興味のない人へのアプローチの双方を同時並行的に行う必要がある。もともと興味のある人に対しては、WEBサイトのコンテンツの充実や新ブランド戦略「つくる、さばえ」のブランドブックを活用した、講演とワークショップを開催することで、まちの魅力や課題を知り、自らアクションを起こす機運醸成を図る。また、普段の日常生活のなかで、何気なく入る情報からのアプローチとして、	
来年度へ向けて	R5年度の実績 市が「選ばれるまち」になるためのブランド戦略「つくる、さばえ」に基づき、ブランディングを推進するため、共感によるブランドイメージの浸透を目的としたリーフレットやウェブサイトを作成し、ブランド趣旨を正確に理解してもらうためのシンポジウム「つくる、さばえ会議」を開催した。また、ブランド戦略「つくる、さばえ」に位置付けられている「ことづくり」を推進するため、市内外の多様な人々が交流し、様々な挑戦が生まれ続けるプラットフォームを構築するスクール開校の準備を行った。さらに、ブランド戦略「つくる、さばえ」に位置付けられている「支え手づくり」を推進するため、市職員がデザイン思考を用いて政策立案をするための研修を	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 インナーブランディングを推進するための第1段階として、ブランド戦略に位置付けられている当事者のつくり手に認知・共感してもらう必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 地域ブランド「つくる、さばえ」の周知・啓発にあたり、市の多様な「つくる」事業について密着取材を実施しその内容を発信することで、まちの魅力や課題を知り、自らアクションを起こす機運醸成を図る。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0